

過年度学部卒業生へのアンケート概要報告

【目的】

・本調査の目的は、本学の教育をより良いものとする目的で、令和3年度卒業生に対してアンケート調査を行った。

【方法】

1. 調査対象

・平成30年度に入学し、令和3年度に卒業した学部生。

2. 調査方法

・上記対象卒業生に郵送で依頼文書を送付し、QRコードによるアンケート調査を実施した。

585名に送付したところ、60名の回答を得ることができた。(回答率10.3%)

2. 調査期間

・令和5年8月9日から令和5年8月31日

【結果】

問1.性別

項目	男	女
回答数	40	20
割合	66.7%	33.3%

問2.卒業した学科

学科	対象者数	回答率
・体育学科	33	48.5%
・健康福祉学科	10	14.7%
・運動栄養学科	8	11.8%
・スポーツ情報メディア学科	4	5.9%
・現代武道学科	1	1.5%
・子ども運動教育学科	4	5.9%

問3.本学の教育内容はいかがでしたか

項目	1.満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.やや不満である	5.不満である	合計
回答数	18	24	10	4	4	60
割合	30.0%	40.0%	16.7%	6.7%	6.7%	100%

分析結果：「満足している」と「やや満足している」というプラスの評価については、回答数(60人)の70%である。また、「不満である」と「やや不満である」とのマイナスの評価については、回答数(60人)の13.4%である。なお、「どちらともいえない」が、回答数(60人)の16.7%である。

前年度・令和4年度過年度学部卒業生へのアンケート概要報告(回答数68人)では、同様のプラスの評価は、63.3%であり、また、同様のマイナスの評価では、7.3%であった。なお、「どちらともいえない」が、回答数(68人)の29.4%である。

こうしたことから、プラスの評価については、対前年比で、若干の上昇をしている。しかし、マイナスの評価では、いわゆるダブルスコア的な上昇があり、その原因、要因等について、要検討である。

問4.本学の施設、設備は充実していましたか

項目	1.充実している	2.やや充実している	3.どちらともいえない	4.やや不足である	5.不足である	合計
回答数	23	21	4	6	6	60
割合	38.3%	35.0%	6.7%	10.0%	10.0%	100%

分析結果：「満足している」と「やや満足している」というプラスの評価については、回答数(60人)の73.3%である。また、「不満である」と「やや不満である」とのマイナスの評価については、回答数(60人)の20.0%である。なお、「どちらともいえない」が、回答数(60人)の6.7%である。

前年度・令和4年度過年度学部卒業生へのアンケート概要報告(回答数68人)では、同様のプラスの評価は、70.5%であり、また、同様のマイナスの評価では、13.2%であった。なお、「どちらともいえない」が、回答数(68人)の16.2%である。

こうしたことから、プラスの評価については、対前年比で、やや数字の上昇が見られる。しかし、マイナスの評価では、数字の上昇があり、本学の施設、設備の充実度についてのマイナス評価について、その原因、要因等について、要検討である。

問5. 本学の就職活動支援はいかがでしたか

項目	1.満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.やや不満である	5.不満である	合計
回答数	13	13	23	8	3	60
割合	21.7%	21.7%	38.3%	13.3%	5.0%	100%

分析結果：「満足している」と「やや満足している」というプラスの評価については、回答数(60人)の43.4%である。また、「不満である」と「やや不満である」とのマイナスの評価については、回答数(60人)の18.3%である。なお、「どちらともいえない」が、回答数(60人)の38.3%である。

前年度・令和4年度過年度学部卒業生へのアンケート概要報告(回答数68人)では、同様のプラスの評価は、54.4%であり、また、同様のマイナスの評価では、16.2%であった。なお、「どちらともいえない」が、回答数(68人)の29.4%である。

こうしたことから、プラスの評価については、対前年比で、数字の減少が見られる。また、マイナスの評価では、数字の上昇がある。

以上から、本学の就職活動支援について、前年に比べると、学生側からすると、あまり好意的な受け止め方ではないようにとらえられる。

従って、本学の就職活動支援の在り方については、今一度、検討しなければならないものといえる。

問6. 本学で学んだ知識や経験は現在の職場で活かされていますか

項目	1.活かされている	2.やや活かされている	3.どちらともいえない	4.あまり活かされていない	5.活かされていない	合計
回答数	24	14	6	8	8	60
割合	40.0%	23.3%	10.0%	13.3%	13.3%	100%

分析結果：「活かされている」「やや活かされている」は令和4年度と比較して、5.9%上昇している。特に「活かされている」は15%上昇していることから、コロナ禍で学生/教職員との交流の機会や大会や行事等への参加制限が徐々に緩和されたことにより、直接的な学びの機会の増加が影響していると考えられる。

問7. 仙台大学を卒業していかがでしたか

項目	1.満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.やや不満である	5.不満である	合計
回答数	29	18	8	3	2	60
割合	48.3%	30.0%	13.3%	5.0%	3.3%	100%

分析結果：「満足」「やや満足」は令和4年度と変わらないが、「やや不満である」「不満である」は6.8%上昇している。

問8. 本学は、体育・スポーツ及び健康分野を通して、グローバル化の視点に立った教育に重点を置いています。また、教養を供え、人間性豊かな行動規範を培い、専門的知見・技術を身につけた人材を養成することを目的にもしております。卒業時にその力が身についたと思えますか

項目	1.身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	合計
回答数	16	27	10	3	4	60
割合	26.7%	45.0%	16.7%	5.0%	6.7%	100%

分析結果：「身についた」「やや身についた」が令和4年度と比較して4%上昇している。特に「身に付いた」は6.1%上昇している。

本調査の分析

今回アンケートの対象とした卒業生は令和3年度卒業であり、3年次からコロナ禍における授業を経験している。教育内容や施設・設備の評価については前年度よりも値の上昇がみられており、コロナ禍における本学の授業や施設利用方針について、一定の評価を得ることができたものと考えられる。一方、就職活動支援に関する評価が低下するなど、コロナ禍における学生対応が十分でなかった箇所も散見されることから、これらの評価を今後の学生対応に活かしていく必要があるだろう。